

急な「病気」や「ケガ」で、

救急車を呼ぶか

病院に行くか

迷った
時に！

高知家の

救急医療電話

- 看護師や医師による救急医療電話相談
- 応急手当の方法のアドバイス
- 相談内容により、119番や高知県救急医療情報センター等へ転送

令和4年8月1日から
はじまりました。

シャープ

7

1

1

9

365日

24時間 対応

無料通話

ダイヤル回線・IP電話からは

088-823-9922 (有料通話)

※「高知家の救急医療電話」は、アドバイスをし、相談者の参考としていただくもので、健康相談や医薬品の使用方法、現在かかっている病気の治療方法等の相談は受けできません。

こうち

15歳未満のお子さまの 夜間相談

こども救急ダイヤル

シャープ

8

0

0

0

365日

20時▶翌日1時

有料通話

ダイヤル回線・IP電話からは

088-873-3090 (有料通話)

緊急時は、迷わず 119 番へ

救急対応の
医療機関を
お探しの場合

高知県救急医療情報センター

088-825-1299

有料通話

365日 24時間対応

高知県・県内市町村



お問合せ先／#7119に関することは、高知県危機管理課 消防政策課 TEL 088-823-9318
#8000に関することは、高知県健康政策部 医療政策課 TEL 088-823-9625

よさこい・四万夢多

8月10・11日に「2022 よさこい鳴子踊り特別演舞」が開催されました。

1954年から続く「よさこい祭り」が初めて中止を発表したのは2020年のこと。21・22年も残念ながら中止となってしまいましたが、特別事業として今年開催されたのが「2022 よさこい鳴子踊り特別演舞」です。四万十町からは「四万十町よさこい踊り子隊四万夢多」が参加しました。



今年は約半数が初めて四万夢多に参加する踊り子ということもあり、新しい繋がりが生まれ、踊り子にとってもいい思い出となりました。

代表の佐竹さんは、「踊り子のおかげで、毎年1番楽しい夏になっている。『四万十町の夏は四万夢多』と言ってもらえるよう、来年は本格的に再開したい。」と、踊り子への感謝とともに今後の意気込みも語ってくれました。



踊り子にとって一番大変だったのは、マスクを着用しての練習。熱中症対策もとっていました。



衣装は十和地域の「こいのぼりの川渡し」をイメージしたデザイン

子どものころ、お祭りの日を楽しみに待ちながら毎日を過ごしたのではないのでしょうか。イベントとは、日常から少し離れて楽しむことができる貴重なものです。大正あゆまつりなど、残念ながら新型コロナウイルス感染症の影響により中止となってしまったイベントもありますが、今年は復活したイベントも多く、子どもだけでなく大人の笑顔もたくさん見ることができました。来年こそは、すべてのイベントが予定通りに行われ、たくさんの笑顔が溢れることを願っています。